

2019年5月31日

保育事業部

榮木 俊枝 山口 貴子

平成30年度報告

平成30年度は「組織価値観の統一を通し職員がひまわりの保育を学び実践することでひまわりの保育のファンを増やす」。をビジョンに掲げ進めてまいりました。職員がひまわりの保育の考え方を理解し保育を提供することを軸に、板橋、江東それぞれのエリア会議を定期的に行い運営の視点に主任を巻き込むことが出来るようになるなど一定の成果を上げることが出来ました。

また、保育の考え方の理解として保育の基本となる保育計画を事業部で作成しエリア会議の中で計画の意図を含め主任を中心に下ろすことを取り入れました。年齢の子供の姿やその発達を基本に保育の中での配慮、環境構成等を分かりやすく職員に伝えることにより日常の保育に反映され一人ひとりの子どもの姿を保育士がしっかり捉え保育に反映することが出来るようになりました。

年度の中で数回実施する個別面談には共通の面談シートを用い個々の発達を踏まえた子どもの姿を保護者と共有することが出来保護者からはこどもの育ちの共有と親の関わり方等とても参考になり子どもの育ちの記録として残しておける物としてとても良いという高評価を受けました。

今年度は子どもの安全を脅かす事故を何件か起こしてしまうという事がありました。事業部では事故を重く受け止め、振り返りは勿論ですが再発防止に向けた取り組みと改善を行なって参りました。当該施設のみならず全体の問題として子どもの安心、安全に取り組みました。この点は今後も続けて参ります。

各園の運営状況の詳細につきましてはそれぞれの報告をご覧いただければと思います。

そうした中で30年度は8園合わせて126名の卒園児を送り出しました。

職員の状況につきましては30年度は各園に子ども保育環境研究所より外部講師にお越し頂き施設の保育内容及び環境について検証と見直しを行ないました。保育実践を通した職員の連携については日々の保育を振り返り改善と見直しを行なう機会となりました。

しかし一方では保育士不足は解消されず数々のフェアへの参加、学校訪問、資料の送付等を行ないましたが、30名の募集に対し11名の職員を採用するのがやっとの状況でした。これは当法人に限ることではなく保育業界全体に起こっている事であるといわれています。国の待機児対策により保育園の増加は留まるどころがなくこうした中で保育士不足は現在大きな課題となっています。

ひまわりキッズガーデン大原

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数			年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数						
	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		計	正 規 職 員	有期契約職員				計	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		実 人 員 合 計	常 勤 換 算	
		正 規 職 員	常 勤			非 常 勤	常勤		非常勤			常 勤	非 常 勤			
							就	退	就							退
園長	1			1							1	1			1	
副園長	0			0							0	0			0	
主任	1			1							1	1			1	
保育士	8		5	13	1	1			1		1	7	6	13		
看護師	1			1							1	1			1	
栄養士	0			0							0	0			0	
調理員	0			0							0	0			0	
用務員	0			0							0	0			0	
その他	1		2	2					1		1	1	1	1	1	
嘱託医	0		1	1							1	1	1	1	1	
計	12	0	6	19	1	1	0	0	1	1	0	12	8	18		

【施設運営状況】

- ・平成30年度は36名でのスタートを致しましたが、途中での退園や入園等の変動がありました。
- ・昨年度に引き続き、安全な保育環境を作るため、「環境・安全」「衛生」「地域」について考えを深めました。園内の整備なども打ち合わせの時間をとり、チーム意見を出し合いながら皆で取り組みを行なっています。
- ・保育環境についてのアドバイスや研修を受ける機会がありアドバイスをもとに子どもが安全に遊びこめるための環境を検討し、棚や玩具の置き場所(コーナー)を変えることでよりじっくりと遊べる姿がみられています。
- ・保育事業部共通での月案を使用することで、職員の作成にかかる時間が短縮され、保育の環境を考えるなど有効に時間を使用する姿が見られています。

【利用者支援状況】

- ・姉妹園3園での幼児交流を年間通して継続することができ、10月には3園合同の運動会を開催いたしました。今年度は天気にも恵まれ、小学校のグラウンドで伸び伸びと運動会を行うことができました。
- ・個別面談の際、ひまわりの保育を図にしたシートに個人の成長記録を記入し、話を進めていきました。保護者からも子どもの成長が分かりやすいとの声を頂きました。

【施設整備状況】

- ・保育室の壁紙工事、乳幼児トイレ手洗いカウンターを取替え工事を行いました。
- ・トイレ内の扉にクッション材の設置工事を行いました。

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員36名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	21	21	21	243	20.25
女児	16	15	15	15	15	15	15	15	16	15	15	15	182	15.16
計	36	35	35	35	35	35	35	35	36	36	36	36	425	35.41

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
28年度	6	6	6	6	6	6	36
29年度	6	6	6	6	6	5	35
30年度	6	6	6	6	6	6	36

【主なできごと】

月例 誕生日会・避難訓練

- 4月 入園進級お祝い会
 - 5月 子どもの日の集い・田植え遠足・保護者会・給食試食会
 - 6月 個別面談・じゃがいも掘り
 - 7月 プール開き・七夕集会・お泊り保育
 - 8月 卒園児交流会
 - 9月 引き渡し訓練・親子自然体験・保護者会
 - 10月 運動会(3園合同)・さつま芋掘り
 - 11月 個別面談
 - 12月 お遊戯会・クリスマス会・餅つき(KG志村合同)
 - 1月 新年の集い・お店屋さんごっこ・5歳個別面談
 - 2月 節分集会・0～4歳保護者会・おもてなし会
 - 3月 5歳お別れ遠足(4園合同)・ひな祭りの会・卒園式・お別れ会、5歳保護者会
- * 誕生会、避難訓練は毎月実施

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容 (行事アンケート・連絡帳から)	対応及び解決方法
1件	保護者 ・幼児クラスの散歩にて交差点の横断歩道を渡ろうとした際、直進してきた自転車にぶつかりそうに	・職員間にて起きた状況を細かく整理し把握をする。散歩ルートのお考え方の見直しを行い、安全に出かけるためにガードレールのある場所を通る、

	なっため、散歩の歩き方を検討してほしい。	信号待ちをする場所や安全確認の方法について再度徹底していくこととお話し、ご理解を頂く。
--	----------------------	---

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施。

年に1回、保護者の協力を得て引き渡し訓練を実施。

● 健康管理

園児・職員の定期診断及び全職員の細菌検査を毎月実施。

健康管理には最善の注意を払い、感染症の流行期にはお便りや掲示等で感染拡大の予防を呼びかけた。また、流行期前から玄関前での手指消毒を呼びかけた。

● 衛生管理

危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を行う。

● 安全管理

危険箇所がないか、老朽化していないか等1ヶ月に一度チェック表で確認を行う。

② 地域交流

● 子育て講座や保育園の行事に積極的に参加を呼び掛けて、地域交流を行う。

● 地域の高齢者施設との定期交流。

③ 実習生・ボランティア

近隣の中学校から職場体験の受け入れを行った。(2校 7名)

東京成徳大学より実習生を受け入れた。(1名)

ひまわりキッズガーデン志村

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数			年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数						
	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		計	正 規 職 員	有期契約職員				計	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		実 人 員 合 計	常 勤 換 算	
		正 規 職 員	常 勤			非 常 勤	常勤		非常勤			常 勤	非 常 勤			
							就	退	就							退
園長			1	1								1	1			
副園長	1			1							1		1			
主任	1			1							1		1			
保育士	8		5	13	1	2			1	1	1	8	5	13		
看護師			1	1								1	1			
栄養士																
調理員																
用務員																
その他			3	3									3	3		
嘱託医																
計	10		10	20						1	10	10	20			

【施設運営状況】

- ・ 新入園児14名を迎え定員でのスタートとなりました。
- ・ 複合施設の保育園としてその良さを職員が認識し理解することで高齢者施設との関わりを日常的に持つ事の意味を理解し取り組みを継続し同じ屋根の下にある保育園としてその空間をともにし、時間を過ごす意味を互いに理解し、関わりを大切にしていきたいと思っております。
- ・ 30年度は主任・主任補佐が異動となり、チーム作りから始めて参りました。意思の疎通が難しかったり、役割という部分での認識がずれていたという場面もありましたが、そういった中で様々なルールの見直しやマニュアルの整備などを行なうきっかけにもなりました。“ひまわりの保育”という部分においては、事業部共通の月案を通してクラスの打ち合わせや乳・幼児会議の中で話し合う機会を設けました。

【利用者支援状況】

- ・ 年間を通して保護者会、個別面談、一日保育士体験等を定期的に行い、園での子どもの様子や家庭での子育てについて話す機会を設けておりますが、特に今年度は“ひまわりの保育”の絵に基づいて、各年齢の姿や発達を保護者に伝えて参りました。子どもの育ちを大切に見通しを持って子育てができるよう、年齢による発達や育ってくる姿を話し、一人ひとりの育ちを家庭と共有できるようにしてきました。年度末の園だよりのアンケート内で良かった・納得できたという回答が多く寄せられました。

【施設整備状況】

・事務所水道下に棚を設置する

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員 54名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312	26
女児	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	336	28
計	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	648	54

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
28年度	6	8	10	10	10	10	54
29年度	6	8	10	10	10	9	53
30年度	6	8	10	10	10	10	54

【主なできごと】**月例 誕生日会・避難訓練**

4月：入園進級お祝い会

5月：こどもの日・田植え遠足・育児講座・給食試食会・保護者会・一日保育士体験

6月：個別面談

7月：七夕・じゃがいも掘り・お泊り保育・水遊び・お楽しみ会(台風のため中止)

8月：水遊び

9月：親子自然体験・敬老お祝い会・保護者会

10月：運動会・さつま芋掘り・一日保育士体験

11月：作品展・個別面談

12月：お遊戯会・クリスマス会・もちつき会

1月：個別面談(5歳児)

2月：節分集会・保護者会

3月：ひな祭りの会・お別れ遠足・保護者会(5歳児)・お別れ会・卒園式

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容（行事アンケート・連絡帳から）	対応及び解決方法
1件	<p>保護者 11月の個別面談の際に、児の様子を話している中で、発達障害の疑いがある事を伝えてしまう。(クラス担任の考えで話してしまった) 母としても気になる点はどんどん伝えて欲しいとの旨を伺うが、診断名に関しては、医者や関係機関がするものではないかとの話であった。</p>	<p>面談の翌日に母より話す時間が欲しいと、副園長に相談に来る。話を聞くと、面談の中で発達障害ではないかという話をされたということであった。(報告は上がっていなかった) 実際、保育の会議内で気になる点としては、上がっていたが、保護者に伝えるという話にはなっていなかった。まずはそういった事が起きてしまったことを謝罪する。この件に関しては、副園長が対応(元々担任をしていた事もあり話しやすかったと思われる)、最後は担任も同席の下、話をした。</p> <p>母から対策を考えて教えて欲しいとの事であったので、以下の点を伝える。</p> <p>①発達に関して気になる場合は、巡回指導の先生に見てもらった上で、話を進める。</p> <p>②そういった話をする際は主任や副園長、園長が立ち会いの下、行なう。</p> <p>以上の2点を伝えると、「わかりました」と納得した様子で話を終えた。</p>

【その他】

①安全管理

●防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施。

合同避難訓練の実施 年2回(複合施設「ここから」として建物全体での実施)

9月 引渡し訓練の実施

●健康管理

園児:毎月 乳児健診、年2回 全園児健診、年2回歯科検診 毎月 身体測定(0歳児 2回)

職員:定期健康診断・インフルエンザ予防接種 毎月 細菌検査の実施、
健康管理には最善の注意を払い、感染症の発症については掲示にて保護者に連絡
玄関前に手指消毒を置いて登降園時に行なう。

●衛生管理

危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を実施。

保育室及び玩具等の消毒

● 安全管理

施設設備点検（月1回）

保育環境の整備（施設内の壊れ、安全クッション、ガード）

事故防止：メッセージグレード、ヒヤリハットを活用した再発防止・ケース検討

SIDSの防止（午睡時睡眠チェック）

② 地域交流

● 高齢者施設と一緒に楽しみ会・作品展を開催、地域への参加の呼び掛けを行なう。

● 子育て講座や保育園の行事に積極的に参加を呼び掛けて、地域交流を実施。

● 育児講座、地域活動を計画し地域の親子への参加を呼びかけ実施。

● 小学生を対象に保育士体験を実施。

③ 実習生・ボランティア

・ 職業体験実習（2校） ・ 栄養士実習（11名）

ひまわりキッズガーデン城山

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数			年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数							
	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		計	正 規 職 員	有期契約職員				計	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		実 人 員 合 計	常 勤 換 算		
		常 勤	非 常 勤			就	退	就	退			就	退			常 勤	非 常 勤
園長	1			1									1				
副園長																	
主任	1			1									1				
保育士	7		5	12		1			1	1			6	5	11		
看護師			1	1									1	1	0.8		
栄養士																	
調理員																	
用務員																	
その他	1(幼教)		2	3					1				1(幼教)	3	4		
嘱託医			1	1									1	1			
計	10		9	19					2	1			9	10	19		

【施設運営状況】

○利用者・地域

・日々の保育内容や子どもの成長を保護者に分かりやすく伝えるため、30年度はクラスだよりの内容を工夫したり、保護者会や個別面談の内容を変更したりと、保護者と一緒に子どもの成長を考えるという機会を大事にしてきました。しかし、保護者を巻き込んで子育てを共に考えるということは容易ではなく、苦慮したことも多かったように思います。そのたびに職員は言葉の使い方や表現の仕方など、様々な視点で発信の仕方を工夫してきました。そしてその取り組みが奏功し、保護者も同じ視点で子どもの成長を観て下さる方が増えてきたことを実感しています。そしてこれは保育園側の独善ではなく、保護者の方々からも、「組織に一体感がある」「理念・方針に沿って保育をしている」「分かりやすく説明してくれ納得ができる」「安心して預けられる」などの声があがり、利用者の評価にも繋がっていることにうれしく思います。今後も保護者を巻き込みながら一緒に子育てを考えていける関係性の構築に努めて参ります。

○職員

・30年度は事業部共通の年案・月案が作成されました。共通月案は、ひまわりの保育を通してどんな子に育てたいのか、子どもの育ちの像を標準化した指導計画になっているため、個人の主観で保育をすることが減り、全職員が同じ価値観のもと保育を実践することの大切さに、改めて気づいた一年でした。また、共通月案は0～5歳児までの縦の繋がりも分かりやすく記してあることから、育ちには繋がりがあることを知った若手職員は、保育の奥深さを感じており、子どもが何を求めているのか、“子どものため”に環境設定を考えたり支援の方法を考えたりと、自己研鑽に励む職員が以前よりも増えました。

【利用者支援状況】

・地域の在宅子育て家庭を対象に、育児講座や保育所体験を開催し、園児との交流の場を設けています。保育所体験は、食事の対応やトイレトレーニングなどの取り入れ方が知りたい、友達と手を繋いで散歩する経験をさせたいなど、家庭では経験できないことに魅力を感じて、何度も足を運んで下さる方がいました。

・保護者に向けて、保護者会(年3回)・個別面談・保育参加を定期的に行い、園の様子や情報を随時発信しています。特に子どもの育ちについて、大人がどのように関わるかなど、園と保護者と共有することを大切にしています。

・卒園児を対象に小学生育児体験を実施しました。保育士の仕事を体験したり、乳幼児のお世話をしたりする体験の場を設定しましたが、小学生ならではの元気よさと心遣いが、園児の心に届き、親しみを持って遊んでいたのが印象的です。また、高学年にはおむつ替えやトイレの援助などの役割を担ってもらったことで、充実感や信頼感など、小学生の心の育みにも繋がったように感じています。

【施設整備状況】

- ・トイレクリーニング
- ・エアコンクリーニング
- ・室内消毒(年2回)
- ・厨房換気設備修繕

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員 60名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348	29
女児	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	372	31
計	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720	60

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
28年度		12	12	12	12	12	60
29年度		12	12	12	12	12	60
30年度		12	12	12	12	12	60

【主なできごと】

月例 誕生日会・避難訓練

4月: 入園進級お祝い会・保護者会

5月: こどもの日の集い・田植え遠足・給食試食会・全園児健診

6月: 個別面談・歯科検診

7月: 個別面談・じゃがいも掘り・七夕の集い・お泊り保育

- 8月：水遊び
 9月：親子自然体験・地域祖父母交流会・保護者会
 10月：運動会・さつま芋掘り
 11月：個別面談・お遊戯会・全園児健診
 12月：クリスマス会・もちつき会・個別面談(5歳児)
 1月：歯科検診
 2月：節分の集い、保護者会
 3月：ひなまつりの集い・お別れ遠足・お別れ会・卒園式

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容（行事アンケート・連絡帳から）		対応及び解決方法
1件	3歳児 女児	散歩から帰り、園内階段付近で待機をしていた時、友達とぶつかった際本児がふらつき、その拍子に階段の手すりと壁に間に左腕が挟まってしまう。すっぽりとはまっていたため無理矢理抜くのはやめ、石鹸や油を使用して丁寧に対応したところ、少し腕に赤味は残ったものの、無事に抜くことができた。また、腫れや痛みの訴えないことから経過観察をすることにした。その後の着脱や排せつの様子、食事の様子もいつも通りであり、不自然な動きはなく、赤味も和らいできたため、お迎え時に保護者へ状況報告をした。その時の保護者の様子は、本児の腕を目視し確認した上で「分かりました」と状況に納得され帰園したが、翌日「状況報告に相違がある、とても痛がっていて腕も腫れている」という、ご意見が挙がってくる。また、何故すぐに連絡をくれなかったのか、受診をするレベルの怪我なのに何故すぐに受診をしてくれなかったのかと立腹されている。	<p>このご家庭は、以前から怪我に対して敏感なところがあり、「少しでも怪我をしたら連絡がほしい、受診の有無は母親が判断する」ことを、園と家庭とで共有していた。しかし、今回は、赤味はあったものの外傷はなかったため、職員間では「怪我」と認識せず、経過観察をするという判断をしたことが、ご意見の要因の一つと考えられる。</p> <p>保護者には、連絡の失念を謝罪したが、受診をしなかったことについて納得されず、職員の危機管理意識が希薄しているのではないかと更なるご意見に繋がってしまった。</p> <p>しかし、職員は経過観察の中でしっかりと本児の動きや体調などを把握しており、危機意識を持って対応をしていたため、職員の対応には問題がなかったと考える。</p> <p>ただ、保護者に対して受診の基準を明確に示めしておらず、基準の曖昧さが保護者の不安に繋がっていると思われる。</p> <p>そのため、園長から基準を説明し受診の有無を決定していることを伝えると、少し冷静になり立腹することはなくなった。しかし、納得には至っていないため、引き続き、小さなことでも怪我に繋がるような姿があったら、保護者に必ず一報を入れることを約束し、対応をしている。</p>

--	--	--	--

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施

9月 引渡し訓練を実施

● 健康管理

園児 ; 年2回 全園児健診 ・ 年2回 歯科検診

毎月 身体測定

日々の検温(午睡後など)を行い、園児の体調把握を行う

予防接種の呼びかけを行い、事前に感染症拡大を防止する。

感染症が発症した場合・疑いがある場合には、事務所内で安静に過ごす。

職員 ; 年1回 定期健康診断 ・ 毎月1回 細菌検査

● 衛生管理

危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を行う

保育室や玩具などの消毒を行う

トイレクリーニング

エアコンクリーニング

室内消毒(年2回)

● 安全管理

施設設備点検(月1回)

保育環境の整備(安全ガード、クッションなどを設置)

ヒヤリハット、メッセージグレードを全職員が把握。分析を行い再発防止に努める

SIDSの防止(午睡時睡眠チェック 1歳児…10分間隔、2歳児～5歳児…15分間隔)

② 地域交流

- 月1～2回程度、保育所体験を実施。1・2歳児クラスの運動遊び、制作、散歩等の活動に参加してもらおう。またトイレに座る・手を洗うなどの生活習慣も体験してもらったことで、家庭ではなかなか出来ない体験が出来たと喜んでいる方が多い

- 近隣の方をお招きして世代間交流会を開催。戸外での散策や季節の製作を通して交流を深める

- 小学生育児体験の実施。園児との関わりの中で小さい児のお世話をする体験をしてもらう

③ 実習生・ボランティア

受入れなし

ひまわりキッズガーデン小茂根

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数				年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数					
	(内 休業 職員数)	正規職員		計	正規 職員	有期契約職員				計	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		実 人員 合計	常 勤 換 算	
		常勤	非常勤			就	退	常勤				非常勤				
								就	退			就	退			
園長	1			1									1			
副園長																
主任	2			2									1			
保育士	7	1	2	10			2	1	2		3	8	2	5	15	3.59
看護師			1	1									1	1	1	0.88
栄養士																
調理員																
用務員																
その他			1	1			1				1	1(幼教)	1	1	3	1.17
嘱託医			1	1									1	1	1	
計	10	1	5	16			3	1	2		4	11	3	8	22	

【施設運営状況】

- ・5歳クラスに欠員2名でのスタート。8月末に転居のため5歳児1名が退園し、また、1月末には4歳児1名が転居のため退園となり、変動の多い年でした。
- ・保育環境についての研修や講師から直接アドバイスを受ける機会(保育ワンデークリニック)があり、自園の保育環境について見直しました。子どもが安心出来る環境、じっくり遊びこめる環境をテーマに、チームで話し合い、手作り玩具の作成等を行い、環境づくりに取り組みました。子ども間のトラブルや怪我が減り、落ち着いて遊ぶ姿が増えました。
- ・組織図と職務分担を整理し、職員それぞれが自分の職務を理解し、目指す姿を明確にするために「パートナー面談」を継続して実施してきました。定期的に園長、主任間で面談内容を共有し、個々に応じたアプローチを行なうことで職員のモチベーションを高まり、チームワークが向上しました。
- ・保育事業部共通の保育計画を使うことで、月案作成の時間が短縮され、日々の保育環境や遊びの内容について調べたり話し合う時間が多く取れるようになりました。保育事務についても、後半は計画的に取り組む職員が増え、全クラス期限内での提出ができるようになりました。一人ひとりの特性に配慮したパートナー面談の成果だと評価しています。

【利用者支援状況】

・年間3回の保護者会を通して「ひまわりの保育」について考え方を説明し、園での子どもの姿を知ってもらうため動画を観る時間を持ち、成長を実感して頂く機会になりました。また保護者から懇談のテーマを募り、子育ての悩みや情報を話し合う場になりました。1歳児以上は2部制にしたことで「少ない人数で話しやすい」と言う声もあり、参加率が上がりました。保育指針が変り、改めて乳幼児期の育ちの大切さを理解してもらえよう、担任からは「非認知能力」「愛着関係」等をキーワードに日常の関わりの大切さを伝えてきました。

・「園だより」や「クラスだより」でひまわりが大切にしていることや年令ごとの成長について継続して記載してきました。

・個別面談は一人ひとりの成長の様子をまとめた「ひまわりシート」(児童票)を使用して行ないました。保護者からは「わかりやすい」「持ち帰れるので家族と共有できる」と好評でした。

【施設整備状況】

- ・トイレ洗浄
- ・1階トイレエアコン設置

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員66名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	25	25	25	25	25	24	24	24	24	24	24	24	293	24.4
女児	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	39	39	478	39.8
計	65	65	65	65	65	64	64	64	64	64	63	63	771	64.25

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
28年度	6	7	8	15	14	13	63
29年度	6	7	8	15	14	15	65
30年度	6	7	8	15	15	13	64

【主なできごと】

月例：誕生お祝い会・避難訓練

- 4月：入園・進級お祝い会
 5月：こどもの日の集い・田植え遠足・保護者会・給食試食会
 6月：個別面談・育児講座・農業体験(ジャガイモ掘り)・プール開き・保育参加月間
 7月：七夕集会・お泊り保育(4・5歳児)
 8月：縁日ごっこ・小学生一日保育士体験
 9月：引き渡し訓練・親子自然体験・保護者会・地域祖父母交流会
 10月：運動会・農業体験(さつま芋掘り)
 11月：地域交流運動会(5歳)・個別面談
 12月：おゆうぎ会・クリスマス会・餅つき会・育児講座
 1月：お店やさんごっこ・保育参加月間・育児講座
 2月：節分集会・保護者会・レストランごっこ・育児講座
 3月：ひな祭り集会・お別れ遠足(4園合同)・保護者会(5歳)・お別れ会・卒園式

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
1件	保護者	2歳児新入園児の家庭からご意見を頂いた。①おでこをぶつけた際に保護者に連絡がなかった。頭部の怪我は受診すると聞いていた。②鼻水が出たまま引渡しをされた。丁寧に見て欲しい。	① 遊んでいる途中にバランスをくずして転倒しおでこをぶつけた。看護師と共有し、冷却して様子を見て受診するほどではないと判断した。怪我があったことを保護者に連絡しなかったことを謝罪した。 ② 丁寧な対応に欠けたことを謝罪した。 以降、頭部の怪我についてはその時点で保護者に連絡し、受診の相談を行なった。連絡があることで納得していただいている。面談や保護者会では「いろいろなことが体験できて、園に入れてよかったです」と言って頂いた。

【その他】

① 安全管理

●防災訓練

- ・毎月1回避難訓練・消火訓練、通報訓練を実施した。年1回引き渡し避難訓練も実施。

●健康管理

- ・0歳児は毎月、1歳児以上は2回健康診断を実施。
- ・歯科検診を年2回実施。
- ・職員は年1回健康診断及び毎月の細菌検査を実施。
- ・健康管理には最善の注意を払い、伝染病が発症した際は掲示で保護者へお知らせした。

●衛生管理

- ・電解水を使用し、来園者に手指消毒を依頼し実施した。また、園内の掃除や子どもが使用する
- ・玩具の消毒にも電解水を活用し衛生管理を行う。

●安全管理

- ・ヒヤリハット、メッセージグレードを活用し、再発防止に努める。
- ・午睡時の睡眠チェックを実施。(SIDS防止)
- ・交通安全教室を年3回実施。
- ・保育所内外の安全点検を月1回実施。
- ・建物、設備点検を業者に依頼し実施。

② 地域交流

- ・小学生の1日保育士体験を実施。
- ・地域の高齢者、園児の祖父母と一緒に伝承遊びの交流会を行う。
- ・育児講座や保育園の行事に地域の乳幼児をもつ親子に参加を呼び掛けて交流を行う。
- ・近隣の保育園(公立・私立)との合同運動会に参加。
- ・近隣の小学校との交流を行う。
- ・同法人あいきつずとの交流を行なう。

③ 実習生・ボランティア

- ・保育士実習生:実人員4名

ひまわりキッズガーデン東雲

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数			年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数							
	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		計	正 規 職 員	有期契約職員				計	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		実 人 員 合 計	常 勤 換 算		
		常 勤	非 常 勤			就	退	就	退			就	退			常 勤	非 常 勤
園長	1										1			1			
副園長																	
主任	1										1			1			
保育士	11	2 (1)	13 (1)		2			2		4	12(3)	4 (1)	16	1			
看護師	1		1	1	1					2	1	1	2				
栄養士																	
調理員																	
用務員		1	1									1	1				
その他								1		1							
嘱託医		2	2									2	2				
計	14	5	17	1	3	0	0	3		7	15(3)	8	23	1			

【施設運営状況】

・30年度も職員数としては少ないなかでのスタート、また主任交代などチーム状況も大きく変わったこともあり、基本に立ち返りながら東雲としての土台を再構築していく年となりました。年度当初に共有すべき内容がきちんと共有できていなかったり、姉妹園からの異動職員の中での解釈の違いなど、日々の保育を行なう中での疑問点を職員会議の中で出し合う場を設けたことで、共通理解を深めることに繋げることができました。その他、定期的にマニュアルの見直しや作成を行ないながら、職員によるばらつきをなくすよう取り組んでまいりました。

【利用者支援状況】

・ひまわりの保育実践ということでは、保護者に向けて保護者会の中でひまわりの保育の画を用いながら説明したり、個別面談ではひまわりの画を基にした児童票を通じて子どもの姿とかかわりを共有しています。姿に対してどう援助していくかの見通しが明確になり、保護者ともより具体的な意見交換ができるようになりました。

【施設整備状況】

・経年劣化で給湯器の部品の劣化が見られましたので、31年度に修理を計画しております。
 ・園内にあるネコ道内の防音対策を検討しております。

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員96名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	51	52	52	52	52	52	52	52	51	51	51	51	619	51.5
女児	43	43	43	43	43	43	43	43	42	42	42	42	512	42.6
計	94	95	95	95	95	95	95	95	93	93	93	93	1128	94.0

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
28年度	9	12	15	20	19	20	95
29年度	9	12	15	20	19	20	95
30年度	9	12	15	19	20	18	93

【主なできごと】

月例 誕生日会・避難訓練

4月：入園式・田植え遠足

5月：こどもの日の集い・給食試食会・個別面談

6月：乳児ふれあいデー・個別面談・お泊り保育

7月：七夕の集い

8月：水遊び

9月：親子稲刈り体験・祖父母と遊ぼう会

10月：芋掘り・(豊洲町会フェスティバル)

11月：

12月：お遊戯会・クリスマス会・もちつき会

1月：個別面談(5歳児)

2月：節分・個別面談・お別れ遠足

3月：ひな祭りの集い・お別れ会・卒園式・おもてなしの会

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容 (行事アンケート・連絡帳から)	対応及び解決方法
2件	公団上階居住者 ① 太鼓を叩くような“ドンドン”という音が夕方の時間に響いているが、太鼓を鳴らしたり大きな音で音楽を鳴らしたり	まずは謝罪をした上で、太鼓を叩くということはなく、大きな音で音楽を鳴らすこともないという状況をお伝えしました。ただ、居住者の方の訴えている時間帯はネコ道を使って遊んでいる時間だった

		<p>していないか。いつも夕方の決まった時間で、17時30分頃には静かになる。勉強をしているので静かにしてもらえないか(と直接園に見え、玄関前で話を伺うかたちであった。)</p>	<p>め、音楽的なものではなく天上に作られている遊具で遊んでいる際の足音ではないかとお伝えしました。ネコ道を試用する時間帯を変更し、夕方の時間は使用しないようにするというご理解頂きました。また、園内を見ていただければとお声掛けしましたが、その際は園内に入ることを拒まれたので立ち話で終わる形になりました。</p> <p>→その翌々日、公団サービスセンターへ相談も含め報告をしました(翌日はセンター休業日の為)。</p> <p>園としても初めての苦情であった為、上階(3階部分)で居住者の入れ替わりがあったか、過去に同様の苦情が挙がったことがあるかを訊ねてみたところ、詳細は伝えられないが居住者の入れ替わりはあった、過去には苦情が届いたことは一度もないとのことでした。サービスセンターに訴えがあった際には園に連絡を頂けるようお願いをしました。更に公団管理主任の方が園に見え、施設内を見ながら苦情の内容の確認をしております。状況確認をした上で各フロア掲示板へ騒音についての掲示(集合住宅のため配慮くださいという旨の貼紙)をして頂いたそうで、その後「騒音は収まった」との連絡があったとサービスセンターより報告を受けました。</p>
3歳保護者		<p>4園合同のスポーツフェスティバルを復活させてほしい。屋内は無理だと思うので、屋外でいいので何とかならないでしょうか。スポーツフェスティバルに感動し、楽しみにしていたのですが、失望しかありません。そのへんの考えをお聞きしたい。貸し出し施設の予約は1年以上前からできないと思うので、平成31年度は無理だとしても、その翌年に復活できるよう動いてほしい。今年度については2園合同で実施することも是非検討いただきたい。</p>	<p>法人HPへのご意見でした。</p> <p>保護者の方と面談の時間を設け、ご意見の内容について詳しくお聴きました。フェスティバルを行っていた有明コロシアムはオリンピックの関係で使用できない旨をお伝えしたところ、「使えないからと諦めているのではないか、質を落としたまま戻そうとしていないのではないか、それは怠慢にしか思えない」と語気を荒げていましたがコロシアムを管理している港湾局でもオリンピック後の使用についての情報が下りてきていない為何も動きが取れない旨をお伝えしました。また、2園合同での開催の検討についても2園の園児・保護者が収容できる場所がないことなども併せてお伝えしています。合同開催は難しいが、日々の保育の中での交流を計画的に行なっていくので、その中で運動会に近い企画を検討できればと考えていますとお伝</p>

			えし、ご納得いただきました。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施。

津波対策としてマンション上層階への避難訓練

5月 引渡し訓練の実施

● 健康管理

園児：毎月 乳児健診、年2回 全園児健診(うち1回で視力スクリーニング検査実施)、

年2回 歯科健診、 毎月 身体測定(0歳児 2回)

職員：定期健康診断・インフルエンザ予防接種 毎月 細菌検査の実施、 毎日健康チェック

感染症の発症については掲示にて保護者に周知

感染症予防として流行時期には玄関前に手指消毒を置いて登降園時に行なう。

● 衛生管理

危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を実施。

保育室及び玩具等の消毒

● 安全管理

施設設備点検 (月1回)

保育環境の整備 (施設内の壊れ、安全クッション、ガード)

事故防止：メッセージグレード、ヒヤリハットを活用

SIDSの防止(午睡時睡眠チェック)や死亡事件事例を基に、職員会議での研修を行った。

危機管理の研修(協氏)2回受講

保育環境に関する研修(斉木氏)受講

② 地域交流

● 東雲文庫の活用

● 子育て講座や保育園の行事に積極的に参加を呼び掛けて、地域交流を実施。

● 育児講座、地域活動を計画し地域の親子への参加を呼びかけ実施。

● マイ保育園事業実施。育児講座など対象行事参加の方へ身体測定を行なっている。

③ 実習生・ボランティア

・小中学生の職場体験としての受け入れを行う。(主に夏休み)

29年度は有難いことに予約が殺到してしまい、申し込みに来ていただいたにもかかわらず希望日に入れないということがあった為、1人3日間まで体験可能としていたところを2日間に変更しました。1人の日数は減ってしまいましたが、既体験者の紹介で初めて体験する小学生も増えました。

ひまわりキッズガーデン豊洲

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数				年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数						
	(内 休業 職員数)	正規職員		計	正規 職員	有期契約職員				計	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		実 人員 合計	常 勤 換 算		
		常勤	非常勤			就	退	就	退			就	退			常勤	非常勤
園長	1			1									1				
副園長	1			1		1											
主任	1			1									1				
保育士	10		3	13		4			1		9(1)	4	13(1)	2.1			
看護師	1			1							2		2				
栄養士																	
調理員																	
用務員																	
その他	1	1	3	5					1		1	1	3	5			
嘱託医	2			2							2		2				
計	17	1	6	24		5			2		16(1)	1	7	24(1)			

【施設運営状況】

・今年度は、新たに副園長が配置され、園長と副園長が保育園の運営について密に話し合い職員集団をまとめていくという目的の共有をした矢先、六月に園児の安全を脅かす重大な事故を起こしてしまいました。法人や事業部にご協力頂き、事故の振り返りの中であがってきた数々の問題点に対する改善策を立て、それに対する具体的な取り組みを計画しました。以降は、計画に基づいて実行し、進捗を事業部内で共有後、保護者会にて報告しました。

・既存のマニュアルの更新が滞っていた為、現状に即した内容に更新し、新たに必要なマニュアルを作成し、全職員と読み合わせを行い共有しました。また、業務整理を行ったことで無駄をなくし、仕事しやすい環境作りに取り組んだことで少しずつ残業時間を減らすことが出来ました。

・職員の中には、年度途中からメンタルサポートを必要とする者が3名出てしまいました。内、2名が年度途中での退職となり、1名が年度末で退職となりました。職場の基盤作りや環境改善に取り組んで来たものの更なる業務整理や話しやすい人間関係の構築に向けて改善の必要性を感じています。

【利用者支援状況】

- ・六月の事故を受けて、事故の詳細を報告する保護者会を一回、その後の園の取り組みの進捗状況を報告する保護者会を二回開催しました。保護者会の中では職員に向けて心温まるメッセージやご意見を沢山頂きました。保護者会の中で頂いたご意見を基に園への入退の個人カードキーを導入し、職員の適正配置を保護者と共に確認する為の掲示を作成するなど環境改善に繋げてきました。
- ・地域の保護者向けに開催している育児講座については、講座によって参加人数に偏りが出て来ている為、開催時期や講座の内容等の見直しの必要性を感じています。

【施設整備状況】

- ・エレベーターの扉修繕
- ・0歳児保育室のクッションマット設置
- ・壁の塗替え
- ・1歳児クラスにパーテーション設置
- ・玄関、ゲートのカードキー設置
- ・トイレクリーニング
- ・ランチルームの扉交換

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員 94名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	552	46
女児	44	45	44	44	44	44	44	44	43	43	43	43	525	44
計	90	91	90	90	90	90	90	90	89	89	89	89	1077	90

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
28年度	9	12	18	18	18	18	93
29年度	9	13	18	17	18	17	92
30年度	9	13	18	18	15	16	89

【主なできごと】

月例 誕生日会・避難訓練

- 4月：入園式、田植え遠足
- 5月：こどもの日の集い、給食試食会
- 6月：個別面談、乳児親子ふれあいデー、お泊り保育
- 7月：七夕の集い

- 8月：プール
 9月：稲刈り遠足
 10月：運動会、芋掘り遠足(3, 4, 5、歳児)、豊洲フェスティバル
 11月：保護者会
 12月：お遊戯会、クリスマス会、もちつき
 1月：個別面談(5歳児)
 2月：節分、保護者会
 3月：ひな祭り、お別れ遠足、卒園式

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容（行事アンケート・連絡帳から）	対応及び解決方法
3件	退職する職員についての報告がギリギリにならないと発信されないことで、挨拶できないことがあるので事前に知らせて欲しいとのこと	非常勤の職員に関しては、本人の希望等もあり園便りで発信することは控えてきていたが、今後は掲示等でお知らせできるようにしていくことをお伝えしご理解いただきました。
	築山の養生シートのめくれで転倒したことについて、安全管理の徹底をして欲しいとのこと	養生の剥がれているところは、早急に剥がして対応を行う。月1回の安全確認や設備点検の報告を園便りにも記載して発信するように致しました。
	喧嘩を仲裁している保育士の対応が乱暴にみえたとのこと。そこに付いていたのが非常勤の職員だったこともあり、その場で保護者にすぐに対応することが出来ず、そのまま帰ってしまうことになってしまった。その後、父から今すぐ謝罪に来て欲しいと連絡があった。	父からの電話は園長が対応。現状を職員に確認した上で対応したい旨を伝える。職員からの聞き取りを行い、どこが不快にさせてしまった点なのかを振り返りを行う。実際の映像を本部長及び第三者委員の方に確認していただき、保育者の対応が適切だったのかを確認のうえ、第三者委員の方より保護者に報告をしていただいた。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施

津波対策としてマンション内上層階への避難訓練、引渡し避難訓練を年1回実施

● 健康管理

0歳児は毎月1回、1歳児以上は年に2回、職員は年1回健康診断を実施した。

職員は、毎朝の検温など職員同士で体調を確認しあい健康管理を徹底して行う。

インフルエンザ予防接種も実施

● 衛生管理

電解水を使つての手指消毒を職員、保護者、園児に対して実施した。また、園内の清掃にも電解水を利用し感染症予防に努めるとともに、加湿付き空気清浄機の設置、保護者への予防対策のお願いを行う。

● 安全管理

施設設備点検(月1回)

保育環境の整備、エレベーター扉の変更

② 地域交流

・近隣保育園との交流活動

・運河ルネッサンス協議会主催行事に参加

・豊洲町会の行事や深川祭りへの参加

・育児講座、保育所体験、見学会などの地域親子向けの行事を計画、実施

・保幼小中連携教育の研修や交流に参加

③ 実習生・ボランティア

中学生の職場体験としての受け入れ3日間(実人員 12名)

ひまわりキッズガーデン有明

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数			年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数								
	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		計	正 規 職 員	有期契約職員				計	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		実 人 員 合 計	常 勤 換 算			
		正 規 職 員	常 勤			非 常 勤	就	退	就			退	就			退	常 勤	非 常 勤
園長	1			1									1					
副園長													1					
主任	1			1									1					
保育士	13			13	2	3				5	13(1)	2		15				
看護師	1			1	2	1				3	3			3				
栄養士																		
調理員																		
用務員																		
その他			3	3					2	2			5	5				
嘱託医																		
計	16			19						10	19	2	5	26				

【施設運営状況】

・4月は、前年度末に急に決まった園児の退園があり、4人欠員116名でのスタートとなりました。5月には欠員も埋まり、その後120人の定員を満たしています。転居等による急な転園もありますが、その都度翌月には希望者が入所しており、年度を通じて安定した希望申込みがありました。

・保育士数の不足は続き、今年度も一時保育事業は休止しています。人材紹介を受け保育士2名、看護師1名を採用しました。大変厳しい職員体制ではありますが、主任、主任補佐を中心とした良好なチーム関係の中で、問題の早期発見対応をし、安定した運営をすることができました。8月に受けた平成30年度江東区一般検査でも指摘等はなく、前年度までの改善がなされていることを確認いただきました。

・昨年度、保育こども環境株式会社より定期的に講師を招き、園内環境や職員の育成に助言を頂いてきたことで、現状に応じてより安全な環境を作る意識が職員の中に高まったように思います。これらの取り組みを園だより等で発信してきたことで、保護者の園への理解が深まり、信頼構築に役立ったと思います。

【利用者支援状況】

・職員の大きな入れ替わりがなく、特にリーダー層の定着は保護者にとって大きな安心材料となっているようです。園からの呼びかけに対して、協力しようとしてくださる雰囲気が全体にあります。ここでも、丁寧に積み上げてきた保護者との信頼関係が築けていると感じています。

- ・有明コロシアムが使用できなくなり、心配されていた幼児運動会の開催は、4月に開校された有明西学園の前期課程(小学校)の体育館をお借りして開催することができました。小学校との連携の重要さがいわれている中で、交流の一つとしても良い機会となりました。
- ・江東区で取り組んでいる「マイ保育園ひろば」に協力し、地域の子育て親子が保育園を利用できる機会を持てるよう、毎月定期的に園内開放を行い、大変好評でした。毎月第三木曜日と日程が決まっていることで、利用者も予定を組み易く、毎月の楽しみにしてくださっている親子もいました。
- ・小学生の保育士体験も大変喜ばれました。兄弟関係はもちろん、卒園児、本園以外の卒園児からの希望も多く、在園児と小学生との心温まる交流が多くできました。職員にとっても、小学校に送り出した子どもたちのその後の成長を知る大変良い機会になりました。

【施設整備状況】

- ・園庭客土補充作業で、日々の強風により減ってしまった園庭の土を補充しました。
- ・園庭砂場管理作業で、砂場の砂補充、消毒を行い、子どもたちが遊びやすい砂場づくりをしました。
- ・トイレクリーニングを行い、環境美化と清掃の効率向上をはかりました。
- ・園庭植栽地年間管理は、例年通り年4回行いました。
- ・ゴキブリ防除施工も、例年通り年2回行いました。
- ・9月に台風24号の直撃を受け、園庭の砂場藤棚が倒壊、通路マットが吹き飛ばされ破損してしまいました。撤去作業を行い、10月には安全な状態にしました。

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員 120名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	55	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	682	57
女児	61	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	754	63
計	116	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	1436	

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
28年度	9	15	24	24	20	24	116
29年度	9	15	24	24	23	21	116
30年度	9	15	24	24	24	24	120

【主なできごと】

月例 誕生日会・避難訓練

- 4月:入園式・保護者会・田植え遠足
 5月:引渡し訓練・端午の節句楽しむ日・給食試食会
 6月:個別面談・歯科健診・お泊り保育
 7月:七夕を楽しむ日
 8月:水遊び・プール遊び
 9月:親子稲刈り遠足・敬老お祝い会
 10月:幼児運動会・乳児親子ふれあいDAY・芋掘り遠足
 11月:保護者会
 12月:歯科健診:お遊戯会・クリスマスを楽しむ日・もちつき
 1月:お正月遊び・個別面談
 2月:節分を楽しむ日・お別れ遠足・お楽しみ献立の日
 3月:ひなまつりを楽しむ日・体操発表会・お別れ会・卒園式

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容（行事アンケート・連絡帳から）		対応及び解決方法
2件	保護者より	ある保育士の対応に不信感を持ち、その思いを園長宛に手紙でいただく。	誤解を招いた状況をすぐに確認し、翌日、園長より思いへの謝罪と説明をする。指摘を受けた保育士本人も誤解を受ける対応をしたことを謝罪する。ご納得いただき、その後は問題なし。
	保護者より	怪我をした際に受けた保育士の説明に納得がいかず、園の危機管理体制を園長に質問。	時間を作り、園長と父母が面談する。保護者が安心できる対応でなかったことを謝罪。園の危機管理体制をご説明しご納得いただく。丁寧な配慮の必要なご家庭だったが、その対応が甘かったことを園としても再共有する。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

- ・毎月1回、避難訓練・消火訓練・通報訓練を実施
- ・5月、引渡し訓練の実施

● 健康管理

- ・園児:毎月、乳児健診・身体測定(0歳児月2回)/年2回、全園児健診・歯科健診
- ・職員:年1回、定期健康診断 ・インフルエンザ予防接種/毎月、細菌検査の実施/毎日、健康チェック
- ・感染症の発症については掲示にて保護者に周知
- ・感染症予防として玄関前に手指消毒用電解水を置き、来園時に行なう。

● 衛生管理

- ・危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を実施
- ・保育室及び玩具等の消毒

● 安全管理

- ・施設設備点検 (月1回)
- ・保育環境の整備 (施設内での修繕)
- ・メッセージグレード、ヒヤリハットを活用、職員会議にて事例の共有を行い再発防止に努める

② 地域交流

- ・一時保育事業休止
- ・保育所体験、育児講座、マイ保育園広場などの呼びかけを行い、地域交流を実施する。
- ・有明西学園2年生との交流
- ・防災公園チューリップ球根植え
- ・高齢者施設「ひだまり」との定期交流
- ・小、中学生の職業体験

③ 実習生・ボランティア

- ・東京未来大学より実習生1名(2月)
- ・東京スポーツレクリエーション専門学校より実習生1名(7月)

ひまわりキッズガーデン有明の森

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数			年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数						
	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		計	正 規 職 員	有期契約職員				計	(内 休業 職員数)	有期契約 職員		実 人 員 合 計	常 勤 換 算	
		正 規 職 員	常 勤			非 常 勤	常勤		非常勤			常 勤	非 常 勤			
							就	退	就							退
園長	1										1			1		
副園長																
主任	1										1			1		
保育士	13(1)		2		2	2					0	11	4	15	2.9	
看護師	1										2			2		
栄養士																
調理員																
用務員																
その他			1					5	2	3			4	4		
嘱託医	2										2			2		
計	18(1)		3	21(1)	2	2		5	2	3	17		8	25		

【施設運営状況】

・新規採用職員1名、以前有明の森で働いていた職員1名の復帰、また、大きな職員の入れ替わりも無かった為、各々が役割を担い行動することが出来るようになり、中堅層の育ちが見られるようになった1年である。ここ数年、組織としてそれぞれが役割を担い、責任者は誰なのかを明確にしていくことで、他責になることは減ってきているが、それが若手層の負担になる点もあり、それにはリーダー層がフォローしていくことが必要となってきた。憧れられるリーダー層になるためには、どうしたら良いかを常に考えながら行動していくことがリーダー層に求められることだということを実感しながらも、まだまだ行動に移していくのは難しい点もみられた1年だった。

・園児数では、年間を通して幼児クラスに空きがあり、定員数を満たすことは出来なかった。

【利用者支援状況】

・今年度は、保護者会、個人面談、話そう会等保護者とコミュニケーションを図る機会には、必ず園の方針やひまわりの保育について園の思いを語る場を設けてきた。4月当初の保護者会のアンケートには、「年に1回こうやって保育への思いを聞く機会を持つことは、子育てを見直す機会になり良かった」と言うご意見も頂き、保護者にとっても必要な機会だということを理解してくださっている方もみられている。

地域的には、教育的なことを求め、早期教育を取り入れている家庭も多くみられているが、保育園では集団生活の中で学べることを学んで欲しいと感じている家庭も多くあり、日々の保育の充実と保育内容の発信が必要不可欠になってきている。

【施設整備状況】

- ・砂場清掃
- ・トイレクリーニング
- ・床清掃

【年間利用状況】(各月月初人員)

定員120名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	60	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	731	61
女児	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	696	58
計	118	119	119	119	119	119	119	119	119	119	119	119	1427	119

【利用者状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
28年度	9	15	24	23	21	24	116
29年度	9	15	24	23	23	22	116
30年度	9	15	24	24	24	23	119

【主なできごと】**月例 誕生日会・避難訓練**

- 4月： 入園式、保護者会、田植え遠足
- 5月： 引渡し避難訓練、端午の節句を祝う会、給食試食会
- 6月： 個人面談、乳児親子ふれあいデー
- 7月： お泊り保育(5歳児)、七夕の集い、プール開き
- 8月： プール
- 9月： 稲刈り遠足、敬老お祝い会、話そう会、運動会(幼児)
- 10月： 芋掘り遠足(3, 4, 5歳児)
- 11月： 乳児発表会、保護者会
- 12月： 幼児発表会、保護者会、もちつき
- 1月： かるたとり大会
- 2月： 節分、お弁当屋さんごっこ
- 3月： おわかれ会、おもてなし会、卒園式

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容（行事アンケート・連絡帳から）	対応及び解決方法
1件	園での投薬について 事前にきちんと説明がなかった、 投薬依頼書を毎朝書くのは時間 がない等	入園時の事前説明に不足点があったことを謝罪。 投薬依頼書の預かり方法を再度検討し変更。 園での投薬に関する基本的な考え方を説明すると ともに、園便りにて再度、全家庭に投薬について のお願い、園での取り扱いについて発信すること で納得いただいた。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施、消防署の職員からAEDの利用訓練を実施、年1回引渡し避難訓練も実施した。

● 健康管理

0歳児は毎月、1歳児以上は年2回、職員は年1回健康診断を実施した。

職員は、毎朝の検温など職員同士で体調を確認しあい健康管理を徹底して行う。

● 衛生管理

電解水を使っての手指消毒を職員、保護者、園児に対して実施した。また、園内の清掃にも電解水を利用し感染症予防に努めるとともに、加湿付き空気清浄機の設置、保護者への予防対策のお願いを行う。

● 安全管理

保育所内外の安全点検を月1回実施。

設備点検など地域の諸機関の協力のもと安全指導を実施した。

② 地域交流

東雲のデイサービスセンターに年間10回訪問し地域交流を行う。

育児講座、保育所体験など園の保育に参加していただき交流を深めた。

小学校の夏季休業期間に保育士体験を実施。

③ 実習生・ボランティア

・東京スポーツレクリエーション専門学校1名